

昭和34年7月27日第三種郵便物認可 毎月1回1日発行
令和4年6月25日印刷 令和4年7月1日発行 第64巻第7号 通巻第752号

ちから ぺんのか

美しい文字・個性的な書



公益財団法人 日本書道教育学会

7 / 2022

ぺんのか

2022年7月号

公益財団法人

日本書道教育学会

専攻コース

規定課題

(会友く六段)

※左の「九成宮醴泉銘」の「百尋」から「觀其移山廻澗窮」までをペンで臨書しなさい。



〔原文〕百尋。下臨則崢嶸千仞。珠壁交暎。金碧相輝。

照灼雲霞。蔽虧日月。觀其移山廻澗。窮(泰極侈)

(参考手本は次ページ)

〔読み〕

(道遣たること) 百尋。下に臨めば則ち崢嶸たること千仞。珠壁交こも映じ、金碧相い暎き、雲霞を照灼し、日月を蔽虧す。其の山を移し澗を廻らし(泰を)窮め(侈を極め)

〔出典〕

九成宮醴泉銘

〔大意〕

(高殿の高く聳えるさまは) 百尋ばかり。見おろせば深く遙なことは千仞もあるほど。真珠や璧玉が照り映え、金と碧が輝きを競うかのようであり、雲霞を灼けつのように照らし、日月をも蔽い隠さんばかりである。このように山を移し、澗をめぐらして、(贅沢を)

堀津節子臨

(つけペン)

極めた。

※初：上下方向に両手を広げた

長さ。(尋と同じ。)尋は

左右、横の長さをはかる

字で上下高深には何を用

いた。

〔解説〕

欧陽詢は率更令そつこうれいという役

についていた。率更という

のは時刻を掌る官吏つかさどで正確

でなければ気がすまない

という性格もこうした役職と

関係があったかと思われ、

「九成宮醴泉銘」も性格が

よく表れている。

〔書道史講座〕より

〔文字解説〕

筆写体

回	𠂇	𠂇
𠂇	𠂇	𠂇

百尋下臨則崢嶸千
 仞珠璧交暎金碧相
 暉照灼雲霞蔽虧日
 月觀其移山迴澗窮

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色
 用紙 ペンの力用紙A型（B型も可）

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

専攻コース

規定課題

(五段〜初段)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書

(つけペン)

〈読み〉

卅日、日光山の麓に泊る。あるじの云けるやう、「我名を仏五左衛門と云。万正直を旨とする故に、人かくは申侍ま、一夜の草の枕も打解て休み給へ」と云。

〈作者〉 松尾芭蕉

(一六四四〜一六九四)

〈出典〉 『奥の細道』

〈大意〉

三月三十日、日光山の麓の宿に泊まる。宿の主人が言うことには、「私の名は仏五左衛門といえます。すべて正直を信条とするため、まわりの人から『仏』と呼ばれています。そんなわけで、今夜はゆつくりお休み下さい」と言う。

〈解説〉

画数の多少、字粒の大小などをバランスよく書き合わせていきますが、書きこみながら調子をつかみましょう。

旧字体	筆写体	常用体
	光	光
佛		仏
衛	衛衛	衛
萬	萬	万
	正	正
	直直	直
	旨旨	旨
	解解	解

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン
(ボールペンは不可)、インクは黒色
用紙 ペンの力用紙A型(B型も可)

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

専攻コース

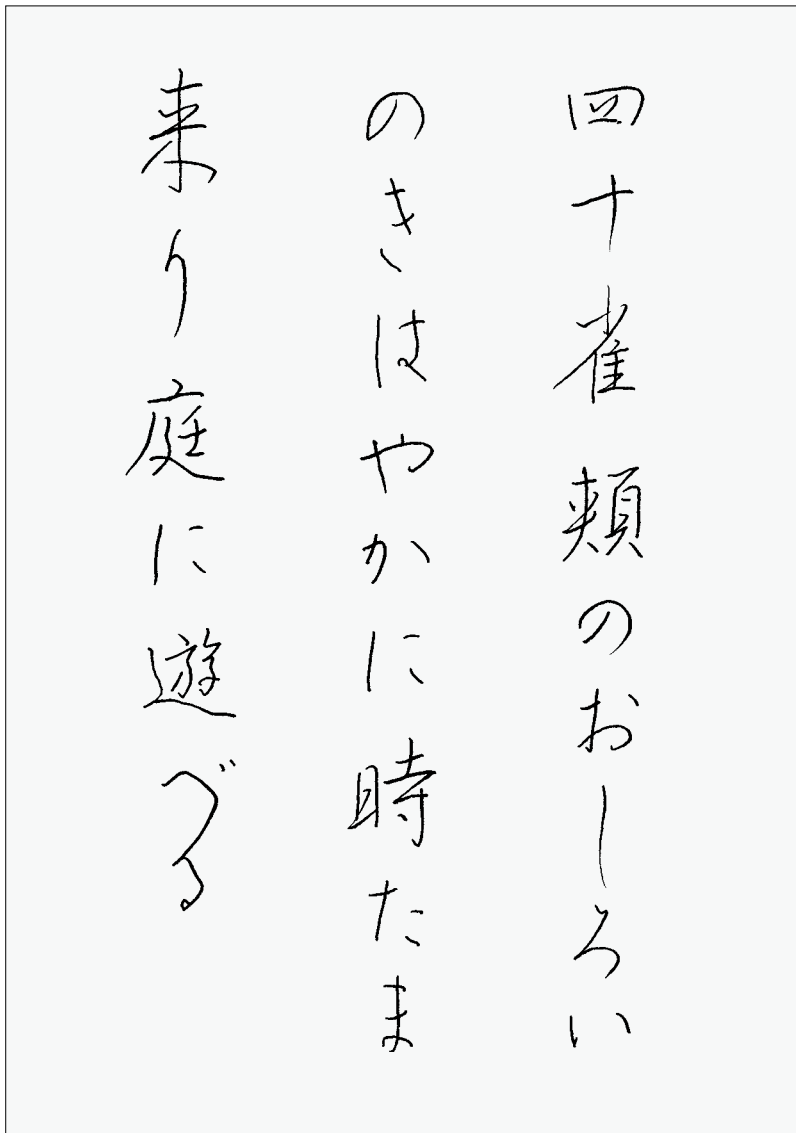
規定課題

(1級～5級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

堀津節子書

(つけペン)



〔読み〕 四十雀類のおしろいしじゅうからほおのきはやかに時たま

来り庭きたに遊ぶ

〔作者〕 木下利玄(一八八六～一九二五)

〔大意〕 四十雀の頬はおしろいを塗ったように白

く際立ち、時々私の庭に来て遊んでいる。

〔解説〕 連綿は引きずって重くならないように書

きたい。ムリな続け方をせず場合により

単体でまとめることもある。各自で工夫

してみよう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン(ボールペ

ンは不可)、インクは黒色

用紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って
出品してください。

〈解説〉

(いろいろな書きぶり)

雀雀雀雀 時時時時 遊遊遊遊 抄
 頬頬頬頬 庭庭庭庭

〔連綿の注意点〕

上の文字の収筆から※印まで
一文字のように続ける



基礎コース

規定課題

(五段く初段)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

宮田 須美子 書

(デスクペン)

円覚寺は一二八二年、八代執権北条時宗
 によりて建立せられた。開山は時宗が師と
 した宗の高僧、無学祖元である。

(解説)

祖	学	権	覚	円	常用体
祖	學	權	覺	圓	旧字体
祖	學	權	覺	圓	筆写体
僧	師	無	開	建	常用体
僧	師	無	開	建	旧字体
僧	師	無	開	建	筆写体

〈読み〉

円覚寺は一二八二年、八代執権北条時宗によって建立された。開山は時宗が師とした宗の高僧、無学祖元である。

〈出典〉

マップルガイド『鎌倉』昭文社より

〈解説〉

漢字が続く所の中心に留意して書きましよう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペンも可、インクは黒色

用紙 ペンの力用紙3行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

遠回りでも安全な道を取っ

たほうかが結局は早い。

↑ここに貼る↑
月別・バーコード券

〈読み〉 遠回りでも安全な道を取ったほうが結局は早い。〈出典〉 ことわざ・急がば回れ

〈解説〉 字粒・字間に注意して字くばりし、力をいれすぎないでややゆっくり書きましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスタクペン、ボールペンも可 インクは黒色 用紙 ペンの力用紙2行書き

※バーコード出品券と月別出品券②の2枚を貼って出品してください。

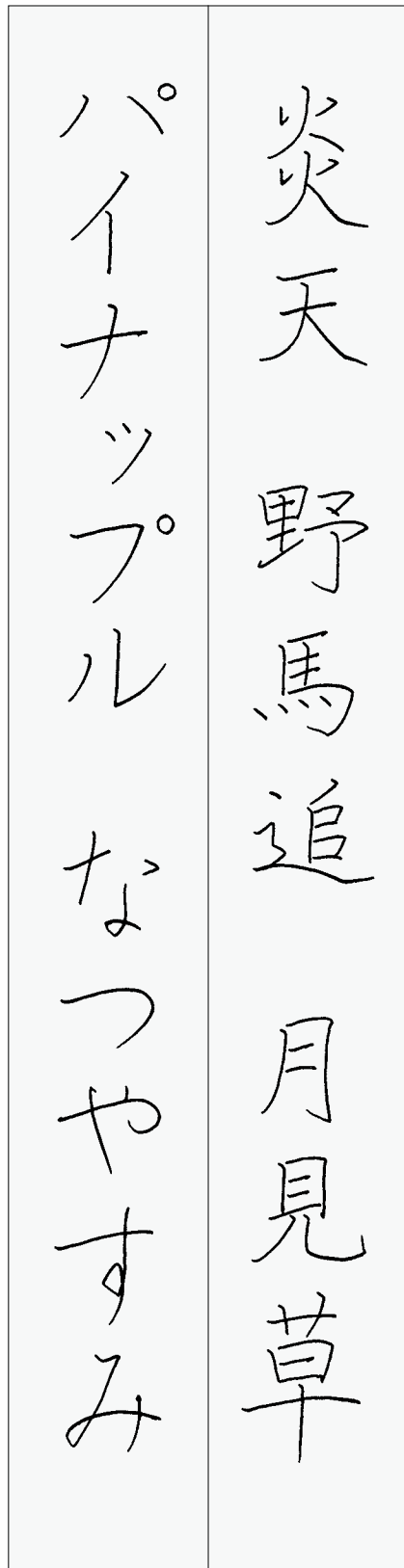
基礎コース

規定課題

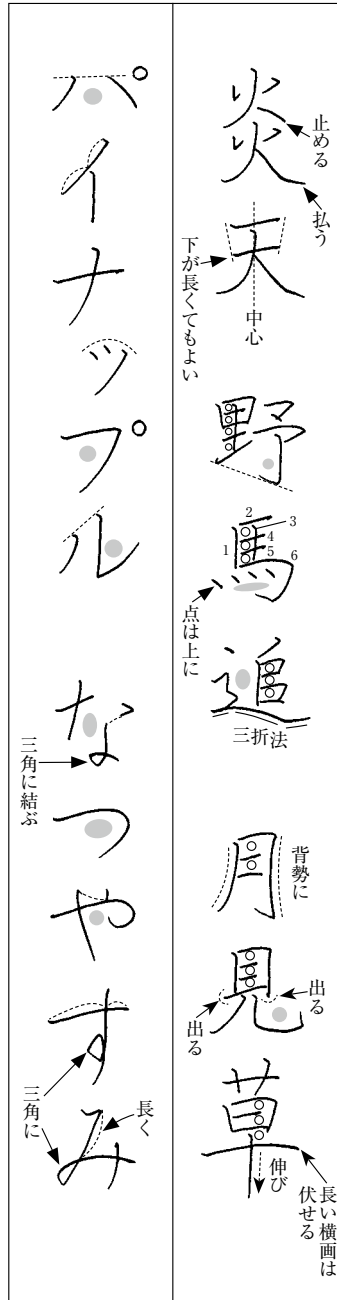
(6級〜10級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪 春書 (つけペン)



〈解説〉



〈読み〉

炎天 野馬追 月見草

パイナップル なつやすみ

〈出典〉

『最新 俳句歳時記』

漢字は横画の間隔を均等にし(横分位)、「炎」は払いが重複しないように一方を止めます(減鈎減捺法)。片かなは直線的に、平かなは曲線的にまとめましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、

ボールペンも可 インクは黒色

用紙 ペンの力用紙2行書き

※バーコード出品券と月別出品券①の2枚を貼って出品してください。

随意課題

つけペン

専攻コース（1級〜10級）
基礎コース（全員）

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。
用紙を縦にして縦書きとしてください。

堀津節子書

〈読み〉

閑居かんこ鳥とりきのふもこ、に來啼きたなぬる

〈作者〉

与謝蕪村

（一七一六〜一七八四）

〈大意〉

郭公が昨日もここに来て啼いていた。

〈解説〉

草書がいくつかあります。知っている字もあるでしょう。書き慣れない文字は形が暗記できるまで繰り返し書き、ゆとりをもつて書きましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデ

スクペンインクは黒色

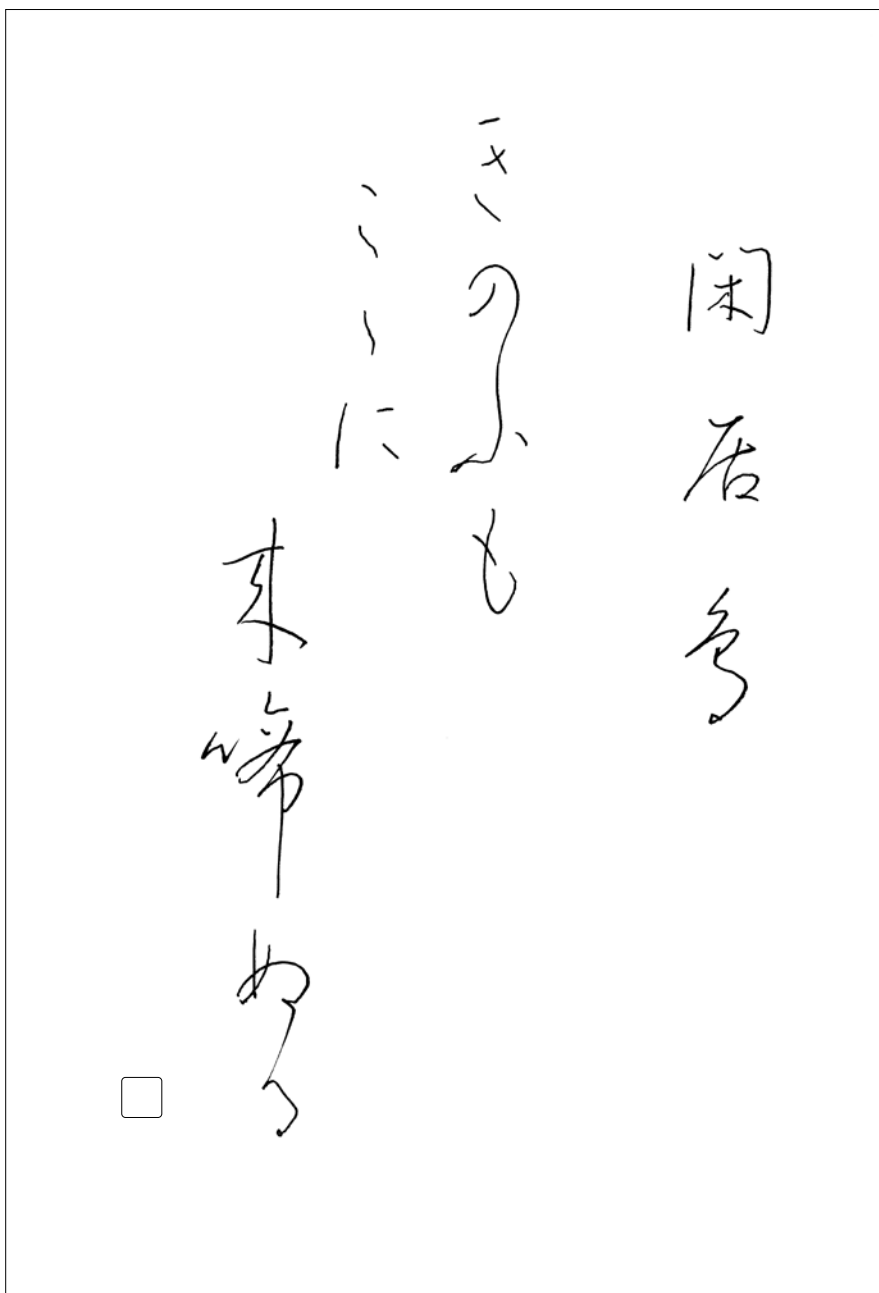
ボールペンは不可

用紙 べんの力用紙A型

※規定コースの段級を必ず記入してください。

記入のないものは段級不明となります。

※バーコード出品券と月別出品券◎の2枚を貼って出品してください。



専攻コース（1級～10級）・基礎コース（全員）

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

小島鳳治書
(毛筆タイプ)

廃油を使って石けん作り
 驚くほどよく落ちる石けんが出来ますよ！
 日時 七月十六日(土) 午前十時～十二時
 場所 リサイクルセンター
 対象 中学生以上の方
 定員 二十名(七月八日(金)締切にて抽選)
 費用 無料
 申込み 羽村市環境活動推進課
 (電話 五四三一二一〇九)

教室名	段	氏名(姓)				級
-----	---	-------	--	--	--	---

〔解説〕

○筆写体を用いています。廃・羽は縦書の流れを止めないように最終画の向きに留意しましょう。
○ク・タの一、二画目は方向を変えて末広がりにする。

用具

用紙 べん力筆ペン用紙、またはB4判(タテ36・4cm・ヨコ25・7cm) コピー用紙を縦に使用。
筆ペン インクは黒色

下欄の不二教室名・段級・氏名のわくは、A型用紙のものを貼るか、筆ペン用紙をお求めください。
(作品には不二教室名・段級・氏名を必ず明記してください。)

※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。

※バーコード出品券と月別出品券◎の2枚を貼って出品してください。

随意課題

ボールペン

専攻コース（1級～10級）・基礎コース（全員）

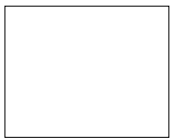
※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。
※バーコード出品券と月別出品券⑥の2枚を貼って出品してください。

郵便はがき

2430815

厚木市妻田西五九一
小曾 黄 俊 様
小金井市東所七二四
田 稻 藍



1840011

暑中 尤見之舞
連日 厳しい暑さが続いておりますが
来守が如何お過ごしでしょうか
八月の錬成会もお目にかかれます
ことを楽しみにしております
令和四年 盛夏

〈読み〉暑中お見舞申しあげます 連日厳しい暑さが続いておりますが 如何お過ごしでしょうか 八月の錬成会でお目にかかれますことを楽しみにしております 令和四年盛夏

〔解説〕補点(なくても良い)

と舞 (点1) 夏 (点2) (画の省略) 藍 (点3) 田 (点4) 稻 (点5) 藍 (点6)

用具 ボールペン(油性・水性・ゲルインクのどれでも可) インクは黒色

用紙 ペンの力用紙C型

小島 鳳 浴 書 (油性ボールペン)

↑ここに貼る↑

月別・バーコード券

ボールペン（横書き）

相寄って研究会を作り、互いに鍛錬し、競書し、学書にいそしむのは楽しいことである。ただ「随衆行道」する道友を得ることも、また容易ではない。生涯を通して道を楽しむ道友を得ることができれば、それはまことに幸福なことである。

↑ここに貼る↑

『犀水書話』42ページより

月別・バーコード券

つけペン（和歌）

濱^{はま}つづき夏のおほそらはるかにて
立^{なみ}つしら浪のけぶりたるかな

筆ペン（揭示文）

第18回親子ふれあいスポーツ

くつとばしんピック ※参加賞・賞品もあるよ!

大人と子どもが一緒に靴をとばして遊ぼう!

日時 7月23日(土) 午前10時スタート

受付：午前9時45分より

場所 神田小学校 校庭（雨天中止）

服装 運動のできる服装、運動靴

持ち物 タオル、水筒 ※マスク着用

申込み 当日直接会場へ

主催 青少年育成令和地区委員会

※規定コースの段級を必ず記入してください。
記入のないものは段級不明となります。
※バーコード出品券と月別出品券①②の2枚を貼って出品してください。

不 教 養				氏 名 欄						段
-------------	--	--	--	-------------	--	--	--	--	--	---

〈大意〉夏の浜辺を眺めると、海も空も遙に広く、白波が立って煙のように霞んで見えた。
〈作者〉若山牧水（一八八五～一九二八）

随意課題出品のきまり

つけペン（短歌）

課題 右ページの短歌を、自分の書きぶりで体裁よく書きなさい。（漢字・かなの書き換え自由・旧かなづかい使用のこと）

用具 つけペンまたは万年筆 デスクペン ボールペンは不可 インクは黒色

用紙 ぺんの力用紙A型（B型も可）を縦に使用する。

ボールペン（横書き）

課題 右ページの文を横書きに、体裁よく書きなさい。（書体自由）

用具 ボールペン 油性・水性・ゲルインクのどれでも可 インクは黒色

用紙 ぺんの力用紙A型（名前が左にくるように横にして書く。不二教室名、段、氏名は縦書きにする。）B型も可。

筆ペン（揭示文）

課題 右ページの揭示文を横書きに、文字の位置や大小を考えて、体裁よく書きなさい。（漢字の書体は楷書または行書）

用具 筆ペン インクは黒色

用紙 ぺんの力筆ペン用紙、またはB4版（約36・4cm×約25・7cm）コピー用紙を縦に使用。作品の下欄には、不二教室名・段・氏名を必ず明記すること。（そのわくは、A型用紙のものを貼ること）

◆八月号課題予告◆

【専攻コース】

会友〜六段

『九成宮醴泉銘』より

五段〜初段

廿余丁山を登つて滝有あり。岩洞がんどうの頂いただきより飛流して百尺、千岩せんがんの碧潭へきたんに落おちたり。岩窟がんくつに身をひそめて入いりて、滝の裏よりみれば、うらみの滝と申まうしつた伝はべえ侍る也。

1級〜5級

大木の幹によりそひあふむけば枝葉のすゑを風わたりをり

6級〜10級

向國惟看日歸帆但信風

【基礎コース】

五段〜初段

寿福寺の開山は榮西である。朱塗りの総門をくぐると、山門まで一直線にのびている敷石の参道がある。

1級〜5級

中途半端な知識で事にあたると、かえって大失敗をする。

6級〜10級

立秋 露草 鈴虫 送火 ほおずき やまぶどう

※課題は変更になることがあります。